



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月5日

上場会社名 ニチコン株式会社 上場取引所 東
コード番号 6996 URL <https://www.nichicon.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 克彦
問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR部長 (氏名) 横場 幹人 TEL 075-231-8461
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	39,601	△3.8	724	377.6	1,050	△27.3	1,187	△31.3
2025年3月期第1四半期	41,150	△8.4	151	△93.4	1,443	△58.8	1,728	△49.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 1,209百万円 (△76.3%) 2025年3月期第1四半期 5,095百万円 (△36.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	17.68	—
2025年3月期第1四半期	25.27	22.80

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	188,945	113,628	58.4
2025年3月期	192,582	113,814	57.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 110,337百万円 2025年3月期 110,432百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	17.00	—	18.00	35.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		18.00	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	180,000	2.4	6,000	15.3	7,000	△6.8	6,000	2.1	89.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年3月期1Q	70,000,000株	2025年3月期	70,000,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	2,840,823株	2025年3月期	2,840,755株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年3月期1Q	67,159,205株	2025年3月期1Q	68,415,164株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間（2025年4月1日～2025年6月30日）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が見られましたが、米国の関税措置や物価上昇等の影響もあり、先行きが不透明な状況が続きました。米国経済は、通商政策により個人消費が影響を受けましたが、全体的な景気は堅調を維持しました。欧州経済は、インフレの圧力の緩和により緩やかに持ち直しました。中国経済は、個人消費と不動産市況の不況が長引き、景気の低迷が続きました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は39,601百万円と前年同期比3.8%の減収となりました。また利益につきましては、営業利益は724百万円と前年同期比4.8倍の増益となりましたが、為替相場が前期末比で円高で推移したため為替差損を計上したことなどにより、経常利益は1,050百万円と前年同期比27.3%の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,187百万円と前年同期比31.3%の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりです。

(コンデンサ事業)

コンデンサ事業における売上高は24,297百万円（前年同期比2.0%減）、セグメント営業利益は659百万円（前年同期比8.2倍増）と減収増益となりました。

車載関連機器向けアルミ電解コンデンサでは、ADAS（先進運転支援システム）や電動化ユニット向けに搭載されている導電性高分子アルミ固体電解コンデンサおよび導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの需要が拡大しており、引き続き増産体制を整えてまいります。情報通信機器向けでは、生成AIサーバーなどデータセンター用途の導電性高分子アルミ固体電解コンデンサ、導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサや電源用途の大形アルミ電解コンデンサが好調に推移し、今後もさらに拡大が見込まれます。これらに向けて、販売体制を強化するとともに技術リソースを最大限投入し、市場の成長スピードに合わせるべく、開発から量産までを短期間で行う体制を構築してまいります。また、白物家電・産業用インバータ機器向けは、パワーコンディショナーおよびエアコン用途の大形アルミ電解コンデンサが顧客での在庫消化が進み、回復傾向が見られます。当社は引き続き、需要拡大が見込まれる導電性高分子アルミ固体電解コンデンサおよび導電性高分子ハイブリッドアルミ電解コンデンサの製品ラインアップ強化、xEV用フィルムコンデンサの生産能力拡大と技術開発体制の強化により、各重点市場における受注拡大に取り組んでまいります。

(NECST事業)

NECST事業における売上高は15,303百万円（前年同期比6.5%減）、セグメント営業利益は64百万円（前年同期比8.2%減）と減収減益となりました。

家庭用蓄電システムは、本年2月に発表した新たなフラッグシップモデルであるトライブリッド蓄電システム*「ESS-T5/T6シリーズ」を今秋の発売に向け準備を進めており、これに合わせて新たな販路を開拓し、再エネを活用したEV走行・快適な生活インフラの実現・拡大に向けて進めています。EV関連機器については、日本政府のEV充電インフラ整備方針に基づき、EV走行の環境整備が推進されています。その中で、乗用車の充電インフラ整備・拡大だけでなく、業務車両(商用トラック・バス)でのEV化が進む中で、設備用としての急速充電器「サイクリックマルチ充電器」を開発し、EV普及を促進できるよう課題解決に努めることで事業拡大を進めています。一方で、V2Hシステムは、補助金の開始が例年より遅くスロースタートとなっていますが、本格的適用により、今後の回復が期待されます。また、事務機器などに使われる電源製品は、米国関税の影響から市場・顧客のサプライチェーンに変化が見られ、市場にて一時的な停滞が見られました。学術用・医療用等の大型特殊電源は、計画どおり堅調に推移しました。当社は、より良い地球環境の実現に繋がるNECST製品を開発・製造・販売を通じて、社会課題の解決と明るい未来社会づくりに貢献してまいります。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末(2025年3月末)に比べ3,636百万円減少し188,945百万円となりました。主な増減の内容は、有価証券・投資有価証券が前期末に比べ1,701百万円増加し28,490百万円となった一方で、受取手形、売掛金及び契約資産が前期末に比べ3,282百万円減少し35,681百万円、現金及び預金が前期末に比べ932百万円減少し24,587百万円となったことなどによるものです。

負債合計は、前期末に比べ3,451百万円減少し75,317百万円となりました。主な増減の内容は、支払手形及び買掛金が前期末に比べ1,724百万円減少し13,169百万円、電子記録債務が前期末に比べ1,116百万円減少し12,450百万円となったことなどによるものです。

純資産は、前期末に比べ185百万円減少し113,628百万円となりました。主な増減の内容は、その他有価証券評価差額金が1,020百万円増加し11,792百万円となった一方で、為替換算調整勘定が1,094百万円減少し10,094百万円となったことなどによるものです。この結果、自己資本比率は58.4%となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ4,137百万円収入が減少し2,848百万円の収入となりました。これは主に、仕入債務の減少額が2,482百万円となった一方で、税金等調整前四半期純利益を1,262百万円、減価償却費を1,962百万円計上したことに加え、売上債権の減少額が3,048百万円となったことなどによるものです。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ2,427百万円支出が減少し1,629百万円の支出となりました。これは主に、有価証券・投資有価証券の売却・償還による収入が400百万円となりましたが、有形固定資産の取得による支出が1,048百万円、有価証券・投資有価証券の取得による支出が599百万円となったことなどによるものです。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、前年同期に比べ25百万円支出が増加し1,937百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払額が1,208百万円、長期借入金の返済による支出が625百万円となったことなどによるものです。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前期末に比べ932百万円減少し24,587百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日(2025年3月期決算発表時)に公表しました内容に変更はありません。

なお、業績予想に関し修正の必要が生じた場合には、速やかに開示する予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,519	24,587
受取手形、売掛金及び契約資産	38,963	35,681
電子記録債権	5,969	5,911
有価証券	100	600
商品及び製品	14,766	14,990
仕掛品	6,184	5,850
原材料及び貯蔵品	12,265	12,725
その他	4,572	3,713
貸倒引当金	△86	△84
流動資産合計	108,254	103,975
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	18,745	18,418
機械装置及び運搬具（純額）	18,771	18,311
その他（純額）	15,569	15,589
有形固定資産合計	53,086	52,319
無形固定資産	1,928	1,866
投資その他の資産		
投資有価証券	26,688	27,889
その他	4,116	4,438
貸倒引当金	△1,492	△1,544
投資その他の資産合計	29,312	30,784
固定資産合計	84,328	84,969
資産合計	192,582	188,945

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,894	13,169
電子記録債務	13,566	12,450
短期借入金	6,700	6,700
1年内返済予定の長期借入金	2,500	2,500
未払法人税等	1,298	566
賞与引当金	1,514	654
その他	11,084	12,380
流動負債合計	51,558	48,420
固定負債		
長期借入金	15,750	15,125
その他の引当金	3,786	3,953
退職給付に係る負債	1,462	1,412
その他	6,211	6,405
固定負債合計	27,209	26,896
負債合計	78,768	75,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,286	14,286
資本剰余金	16,856	16,856
利益剰余金	60,826	60,805
自己株式	△3,497	△3,498
株主資本合計	88,471	88,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,772	11,792
為替換算調整勘定	11,188	10,094
その他の包括利益累計額合計	21,960	21,886
非支配株主持分	3,381	3,291
純資産合計	113,814	113,628
負債純資産合計	192,582	188,945

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	41,150	39,601
売上原価	35,460	33,304
売上総利益	5,689	6,296
販売費及び一般管理費	5,538	5,571
営業利益	151	724
営業外収益		
受取利息	83	58
受取配当金	348	345
持分法による投資利益	143	26
為替差益	770	—
その他	74	99
営業外収益合計	1,420	530
営業外費用		
支払利息	29	63
為替差損	—	65
その他	99	76
営業外費用合計	129	205
経常利益	1,443	1,050
特別利益		
固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	528	211
特別利益合計	528	212
特別損失		
固定資産処分損	36	0
特別損失合計	36	0
税金等調整前四半期純利益	1,934	1,262
法人税、住民税及び事業税	315	161
法人税等調整額	△185	△216
法人税等合計	130	△54
四半期純利益	1,804	1,316
非支配株主に帰属する四半期純利益	76	128
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,728	1,187

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	1,804	1,316
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	926	1,009
為替換算調整勘定	2,268	△922
持分法適用会社に対する持分相当額	96	△193
その他の包括利益合計	3,291	△106
四半期包括利益	5,095	1,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,917	1,113
非支配株主に係る四半期包括利益	178	95

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1 四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,934	1,262
減価償却費	2,002	1,962
投資有価証券売却損益 (△は益)	△528	△211
売上債権の増減額 (△は増加)	5,091	3,048
棚卸資産の増減額 (△は増加)	120	△543
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,736	△2,482
その他	314	375
小計	7,199	3,410
法人税等の支払額	△616	△903
その他	402	340
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,985	2,848
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△309	△499
有価証券の売却及び償還による収入	—	100
有形固定資産の取得による支出	△3,612	△1,048
投資有価証券の取得による支出	△499	△99
投資有価証券の売却による収入	454	300
その他	△90	△381
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,057	△1,629
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△625	△625
配当金の支払額	△1,163	△1,208
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△123	△103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,912	△1,937
現金及び現金同等物に係る換算差額	966	△214
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,982	△932
現金及び現金同等物の期首残高	29,387	25,519
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,370	24,587

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,789	16,361	41,150	—	41,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	148	67	216	△216	—
計	24,937	16,428	41,366	△216	41,150
セグメント利益	80	70	151	0	151

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	コンデンサ事業	NECST事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,297	15,303	39,601	—	39,601
セグメント間の内部売上高又は振替高	188	—	188	△188	—
計	24,485	15,303	39,789	△188	39,601
セグメント利益	659	64	724	0	724

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の取引消去等です。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。